

《履修上の留意事項》保健医療機関での実習希望学生（3年次、4年次）は必ず履修すること。
面接授業のみ実施

《担当者名》巻 康弘

【概要】

保健医療分野におけるクライアント及びソーシャルワークの特性を実践的に学ぶ科目である。病と共に生きるクライアントの生活課題・ニーズを理解するとともに、生活課題を産みだす社会構造に対する医療ソーシャルワーク実践を理解する。また、本講義を通じて、病と共に生きるクライアントの生活課題や、医療ソーシャルワーク実践に関わる自らの考えを深めていくことを目指していく。

【学習目標】

病と共に生きるクライアントの生活課題・ニーズを説明できる。
医療ソーシャルワーク業務に関わる実践事例を通し、医療ソーシャルワーク実践について説明できる。
チーム医療の構造と医療ソーシャルワーカーの役割を説明できる。
病に関わる生活課題や医療ソーシャルワーク実践事例等を通じ、自らの考えを述べるができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 医療ソーシャルワークにおけるアセスメント	・オリエンテーション ・インシデント情報をもとに、クライアント像を描くことができる。 ・アセスメント項目を説明できる。	巻
2	医療ソーシャルワークにおけるアセスメント	・インシデント情報をもとに、諸制度の活用可能性を検討できる。	巻
3	患者とクライアント	・病者役割と社会的役割を例示できる。 ・医師-患者関係モデルについて説明できる。	巻
4	家族とクライアント	・医療機関において家族に期待される役割を例示できる。 ・家族支援における医療ソーシャルワーカーの役割について概説できる。	巻
5	クライアントが抱える生活課題とウェルビーイング	・クライアントが抱える生活課題を例示できる。 ・事例検討を通じて、病と共に生きるクライアントのウェルビーイングを検討することができる。	巻
6	医療的ケア児との医療ソーシャルワーク実践	・医療的ケア児や親の実情を説明できる。 ・医療的ケア児を取り巻く社会環境を説明できる。 ・医療的ケア児や親との医療ソーシャルワーク実践の実際について説明できる。	高波千代子(特別講師) 巻
7	意思決定支援における医療ソーシャルワーク実践	・意思決定支援におけるソーシャルワーカーの役割を検討することができる。 ・全人的苦痛(トータルペイン)を説明できる。 ・情報共有合意モデルを説明できる。	巻
8	退院支援における医療ソーシャルワーク実践	・退院支援における医療ソーシャルワーカーの役割を検討することができる。 ・選考形成支援について説明できる。	巻
9	社会的ハイリスク妊婦との医療ソーシャルワーク実践	・社会的ハイリスク妊婦の実情を説明できる。 ・社会的ハイリスク妊婦を取り巻く社会環境を説明できる。 ・社会的ハイリスク妊婦との医療ソーシャルワーク実践について検討することができる。	巻
10	高次脳機能障害をめぐる医療ソーシャルワーク実践	・高次脳機能障害の特性について説明できる。 ・高次脳機能障害者を取り巻く社会環境を説明できる。 ・高次脳機能障害をめぐる医療ソーシャルワーク実践	玉川侑那(特別講師) 巻

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		について説明できる。	
11	過疎地域における医療ソーシャルワーク実践	・地域包括ケアについて概説できる。 ・過疎地域の医療の実状について概説できる。 ・地域包括ケアと過疎地域における医療ソーシャルワーカーの役割を概説できる。	巻
12	身元保証がない患者との医療ソーシャルワーク実践	・入院医療における身元保証の実状を説明できる。 ・身元保証がない患者の生活課題を説明できる。 ・身元保証がない患者との医療ソーシャルワーク実践を説明できる。	不動宏平(特別講師) 巻
13	多職種チームにおける医療ソーシャルワーク実践	・多職種チームモデルについて説明できる。 ・多職種チームの発達段階を説明できる。 ・チームングについて説明できる。 ・信念対立解明アプローチについて説明できる。	巻
14	医療機関におけるソーシャルワーク部門の構築	・保健医療機関の組織特性を概説できる。 ・ソーシャルワークチームの機能について説明できる。 ・組織変革プロセスを概説できる。	巻
15	医療ソーシャルワーカーの果たす社会的使命/まとめ	・職能団体を活用して行う地域活動を概説できる。 ・医療ソーシャルワーカーの地域活動を概説できる。 ・医療ソーシャルワークが果たす社会的役割について概説できる。	巻

【評価方法】

確認テスト(60%)、レポート等記録物(40%)

【備考】

教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編(2020)『新・社会福祉士講座 保健医療と福祉』中央法規

参考書：猪飼周平(2010)『病院の世紀の理論』有斐閣

井上寿美・笹倉千佳弘(2015)『子どもを育てない親、親が育てない子ども』生活書院

(公)日本医療社会福祉協会(2015)『保健医療ソーシャルワークの基礎～実践力の構築～』相川書房

日本医療ソーシャルワーク研究会編(2020)『2020年度医療福祉総合ガイドブック』医学書院

新保祐光(2014)『退院支援のソーシャルワーク 当事者支援システムにおける「状況の価値」の形成』相川書房

その他：この科目は、教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学習の準備】

1. 次回の講義のテーマについての事前学習や講義内で指示する課題に取り組む。
2. 特別講師の講義を踏まえ、自分の「考え」をまとめたレポートを作成する。
3. 医療福祉に関する最新動向に関心を持ち、新聞等による情報を把握する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、4

【実務経験】

社会福祉士、認定社会福祉士(医療分野)、認定医療社会福祉士、介護支援専門員

【実務経験を活かした教育内容】

病院・相談機関での医療ソーシャルワーカー(社会福祉士等)としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。